JAL ユニ 宣伝ビラ
No23-06

それぞれの職場で受け止めた交渉の成果

夏の取り組みが今後につながる

夏の取り組みの成果

特別運航乗務員の賃金改定

2027 年4月に改定することを目指す



国内パーディアム見直し開始

制度のあり方や改定の是非を含めて年度末まで判断

インド線のミールがさらに改善

ミール内容を見直し、業務負荷の軽減を実現

深免適用者の昇格基準見直し

2等級への昇格要件から YIC 資格を外す（条件あり）

※YIC：Y クラスインチャージ



転勤時の家選び 柔軟運用へ

状況に応じた柔軟な対応で、住居選択の幅を拡大

シニアの短縮勤務 運用を確認

希望に応じた短縮勤務実現に向け課題を共有



夏の一時金は

基礎額× 2.0 ヵ月

7月3日に支給

ビラ配布やスタンディングで声を発信
仲間と共に次の改善につなげよう！





春闘だけで決める必要ある？

2＋2（2.5）＋期末で本当にいいの？

「基礎額」のところはずっと変えないの？



カスハラ対策　次の一歩へ

カスハラ防止に向けた取り組みが社会全体で進んでいます。航空業界でも、働く仲間を守る対策が広がっています。定航協は関係団体と協力し、カスハラ周知ポスターを共同制作。さらに 2026 年には、定航協と JAL が共同でカスハラ対応動画を制作し、各地の空港や機内で啓発を開始しました。動画では、暴言や業務妨害、SNS での誹謗中傷など 9 つの類型を紹介しています。また、プライバシー保護の観点から、名札による個人の特定も課題となっています。



【定航協カスハラ周知ポスター】

社会的に広がる名札の表記変更

- **名字のみ＋ひらがな**　（医療･介護･保育･役所）
- **イニシャル・アルファベット**　（コンビニ･飲食）
- **ビジネスネーム・仮名**　（ホテル･コールセンター）

名札はアルファベットなのに、
ログブックは本名のままでいいの？



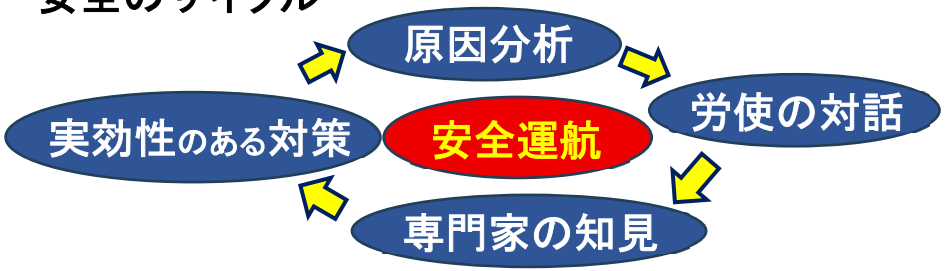
お客様からログブックにサインを求められることがあります。昨今、他業種では個人情報保護の観点から氏名表示を見直し、ビジネスネームを採用する動きも広がっています。安心して働ける環境との両立という視点から、私たちも考えていく必要があるのではないでしょうか。

飲酒問題　一律規制以外の再発防止策を

5 月に発生した客室乗務員のアルコール事案を受け、会社は客室乗務員全員を対象としたステイ先での禁酒措置を実施しています。安全運航の確保は大前提であり、飲酒ルール違反は決して許されるものではありません。

一方で、一部の事例を理由として職種全体に一律の規制を課すことが、本当に再発防止につながるのかという声もあります。今回の事例では、出社後の検査でアルコールが検知され、遅延はしたものの、代替乗務員による安全運航が確保されました。運航規程違反は発生しましたが、検査体制が正常に機能し、安全を確保することができました。

安全のサイクル



ステイ先での全面禁酒措置は、会社としての緊急的な対応として実施されたものと受け止めています。しかし、アルコール問題は個人・仕組み・職場環境など、様々な要因が関係する複雑な課題です。私たちは一律の規制強化だけではなく、労使による対話を重ね、専門家の知見も取り入れながら、実効性のある再発防止策を検討していくことが重要だと考えます。

日航労連「JALユニ」宣伝ビラ No 23-06　2026 年 06 月
発行：日本航空労組連絡会議
Tel/Fax03-6423-2461　Mail ⇒
日本航空乗員組合・日本航空ユニオン・日本航空ｷｬﾋﾞﾝｸﾙｰﾕﾆｵﾝ